

2024年度(2025年3月期) 第3四半期 決算説明資料

2025年2月
阪和興業株式会社

- 1. 2024年度第3四半期決算概要**
- 2. 中期経営計画2025の進捗状況**
- 3. セグメント別の詳細**

1. 2024年度第3四半期決算概要

連結業績サマリ

- 事業環境の不透明感や停滞感が増している中において、鉄鋼事業や食品事業を中心に利益の改善を図り、増収増益。
- 2024年度第3四半期の経常利益は432億円、通期見通し600億円に対する進捗率は72%

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減額 (増減率)	2024年度 通期見通し	進捗率
売上高	18,266	19,195	+929 (+5%)	28,000	69%
売上総利益	944	1,038	+94 (+10%)	—	—
営業利益	424	473	+49 (+12%)	610	78%
経常利益	429	432	+2 (+1%)	600	72%
当期純利益 ※ 1	307	317	+10 (+3%)	430	74%
鉄鋼取扱重量 ※ 2	1,023万t	986万t	▲ 38万t (▲ 4%)	—	—

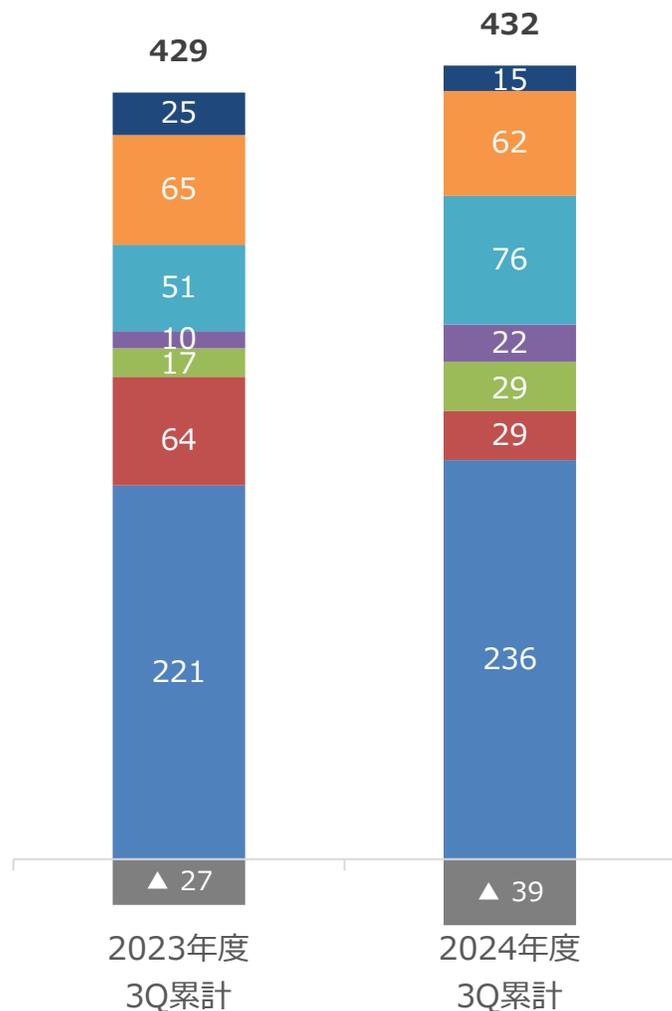
※1 本資料上の「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指します

※2 鉄鋼取扱重量は、当社および連結子会社における鉄鋼取扱重量の単純合算です

事業セグメント別経常利益

(億円)

セグメント損益（経常利益）



セグメント	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	前年同期比
鉄鋼	221	236	+15 (+7%)
プライマリーメタル	64	29	▲34 (▲54%)
リサイクルメタル	17	29	+11 (+68%)
食品	10	22	+11 (+103%)
エネルギー・生活資材	51	76	+25 (+49%)
海外販売子会社	65	62	▲3 (▲5%)
その他	25	15	▲10 (▲42%)
調整	▲27	▲39	▲12 -
合計	429	432	+2 (+1%)

主な増減要因

- 取扱数量が減少した一方、国内建設分野が堅調に推移したことや、一部海外子会社での採算改善が利益を押し上げ
- 海外向け取引が拡大したものの、SAMANCOR社からの持分法による投資損益がマイナスに転じたことが利益を押し下げ
- 貴金属地金やアルミスクラップの取扱数量の増加に加え、銅・アルミ相場などが堅調に推移したことが利益を押し上げ
- 取扱数量は横ばいも、カニを中心に食品価格が前年同期に比べ高値で推移したことが収益・利益を押し上げ
- 船用石油関連の取扱数量の大幅な増加や、化学品関連の取扱数量の増加や販売単価の上昇が利益を押し上げ
- 連結子会社の増加が収益増加に寄与した一方、アジア地域を中心に鉄鋼製品価格が安値で推移したことが利益を押し下げ
- 木材価格下落の影響や、ライフ・アミューズメント分野での大型完工物件が前年同期に比べて少なかったことから減益

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

事業セグメント別経常利益（四半期推移）

(億円)

セグメント	2023年度					2024年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	3Q累計
鉄鋼	82	47	90	23	245	77	64	94		236
プライマリー メタル	40	26	▲ 2	20	84	11	22	▲ 4		29
リサイクル メタル	11	1	3	4	21	7	7	14		29
食品	4	▲ 6	12	2	13	3	4	14		22
エネルギー・ 生活資材	13	1	36	14	65	14	36	24		76
海外販売子会社	20	24	20	12	78	16	20	25		62
その他	15	4	6	12	38	9	1	4		15
調整	▲ 29	14	▲ 12	▲ 36	▲ 64	▲ 18	1	▲ 23		▲ 39
合計	160	114	154	53	482	123	157	150		432

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

事業セグメント別経常利益 実績および通期見通し

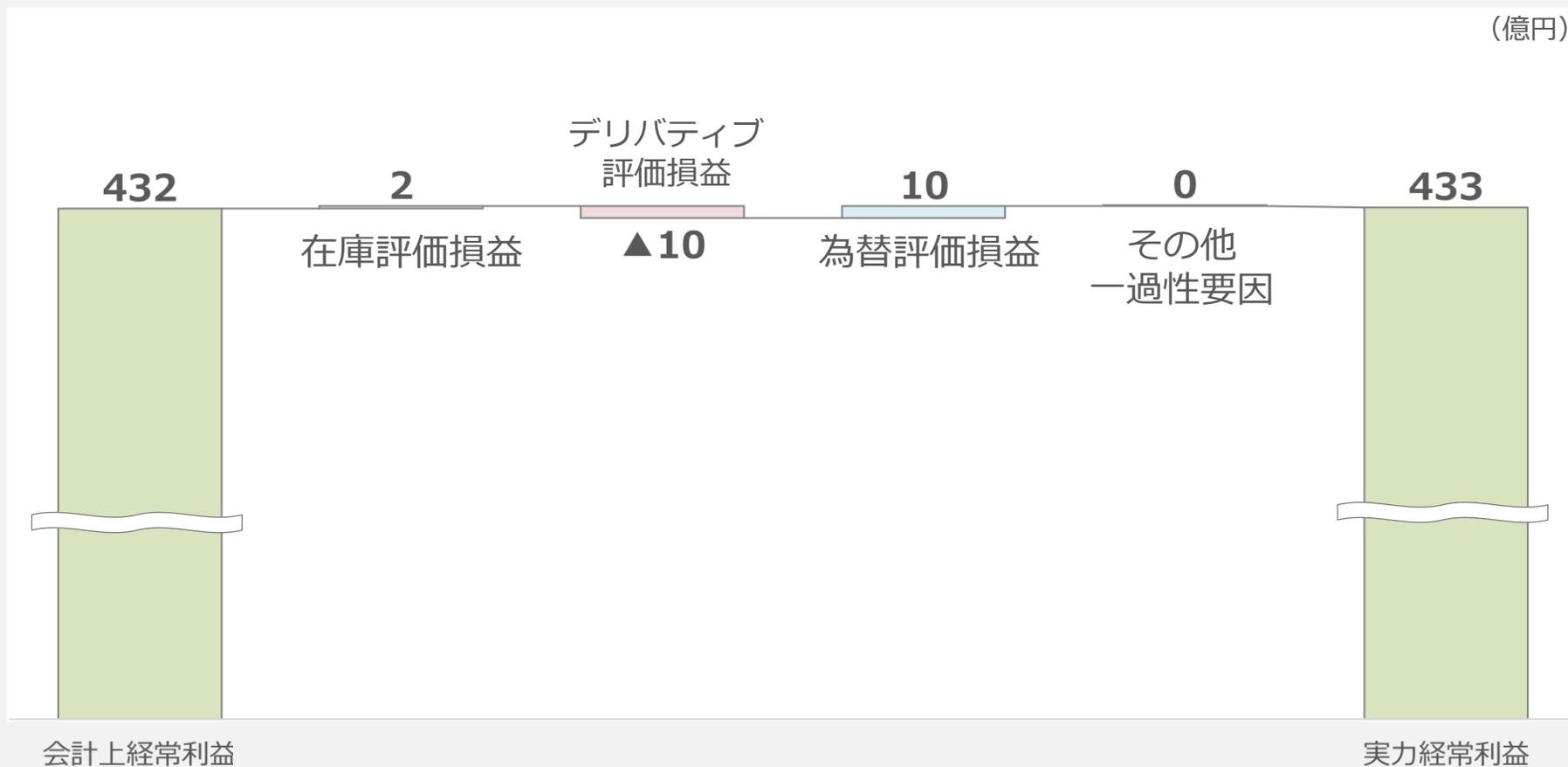
(億円)

セグメント	2024年度通期業績予想		2024年度実績				通期業績予想 進捗率 c/b	期初予想から の増減 b-a	業績予想修正の主な理由
	期初時点 a	3Q時点 b	1Q	2Q	3Q	3Q累計 c			
鉄鋼	270	315	77	64	94	236	75%	+45	請負工事関連等の堅調な利益貢献を踏まえ上方修正
プライマリー メタル	130	50	11	22	▲ 4	29	58%	▲ 80	SAMANCORの業績悪化による持分法投資損益の下振れ、各種非鉄金属市況の低迷を踏まえ下方修正
リサイクル メタル	30	40	7	7	14	29	73%	+10	アルミ・銅・貴金属等の市況の堅調な推移を踏まえ上方修正
食品	30	25	3	4	14	22	88%	▲ 5	量販店向けの商売が安定的に推移しているものの、一部商品で事業環境が悪化傾向にあることから下方修正
エネルギー・ 生活資材	120	110	14	36	24	76	69%	▲ 10	石油製品で利幅の取りづらい環境が継続していることなどを踏まえ下方修正
海外販売子会社	80	85	16	20	25	62	73%	+5	概ね見通し通りであるものの、鉄鋼関連の持分法適用会社の一部が堅調であることなどを踏まえ上方修正
その他	20	25	9	1	4	15	60%	+5	概ね見通し通りであるものの、機械事業の業績が堅調に推移する見通しであることなどを踏まえ上方修正
調整	▲ 80	▲ 50	▲ 18	1	▲ 23	▲ 39	-	+30	
合計	600	600	123	157	150	432	72%	-	

期末時価評価・一過性損益の影響

■ 会計上の経常利益432億円に対し、**実力経常利益**※は**433億円**

※会計上の経常利益から、期末の在庫評価損益およびデリバティブ評価損益、為替評価損益、その他一過性の損益の影響を控除し算出しております。
なお、当社基幹システムの変更に伴い、為替評価損益の要因分析に関わる精度が高まったため、当第2四半期より為替評価損益についての抽出方法を変更しております。事業セグメント別の内訳についてはP.30をご参照ください。



連結財政状態

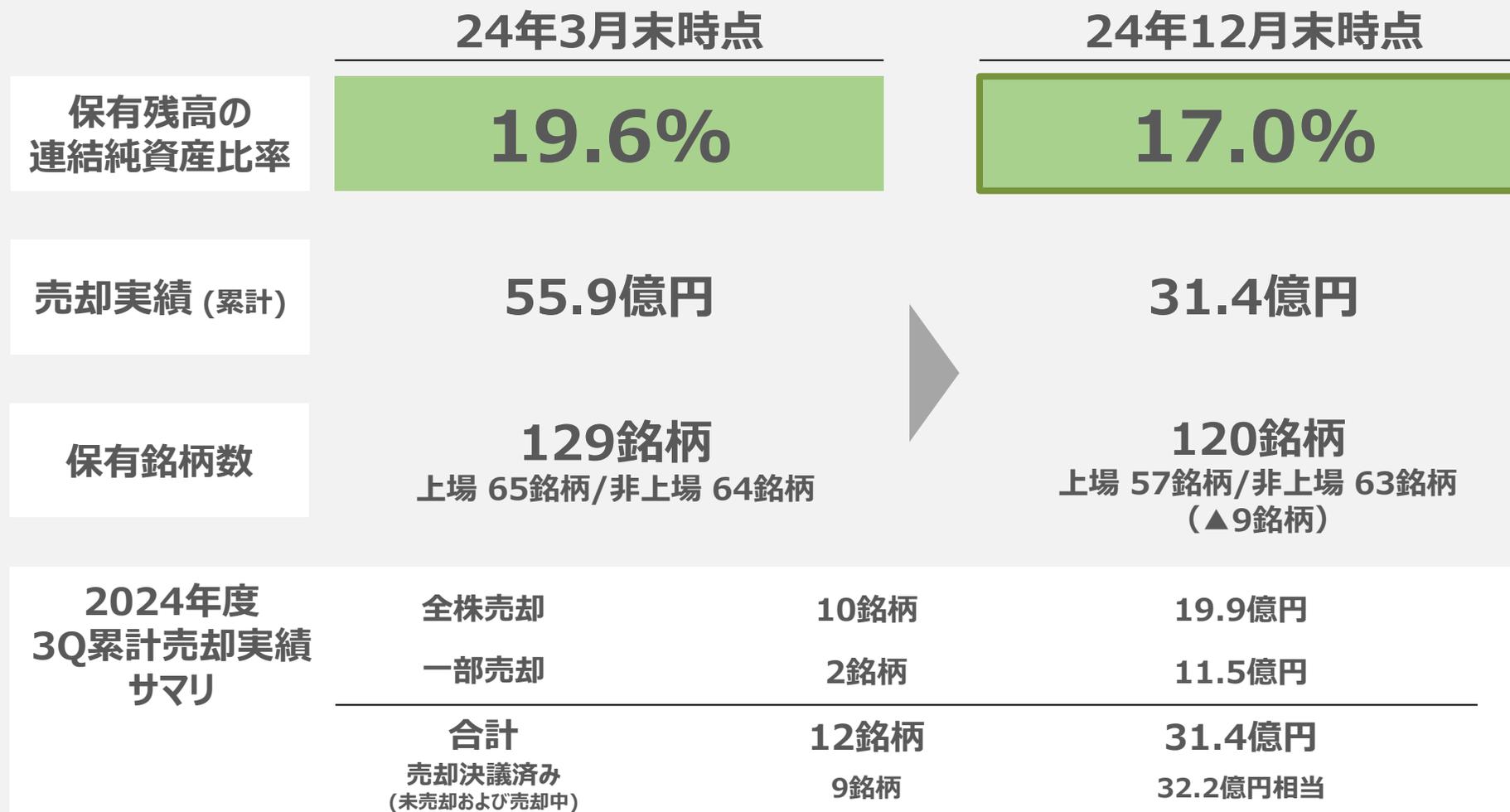
(億円)

	2024年3月末	2024年12月末	増減 (増減率)	主な増減内容
総資産	11,669	11,671	+1 (+0%)	前期比横ばい推移
株主資本	3,042	3,260	+217 (+7%)	利益剰余金の積み上がりや為替換算調整勘定などの変動により増加
自己資本	3,512	3,683	+171 (+5%)	
自己資本比率 (ハイブリッドローン考慮後)	30.1% (32.2%)	31.6% (33.7%)	+1.5pt	
有利子負債	3,654	3,816	+161 (+4%)	短期借入金の増加などにより増加
純有利子負債	2,889	3,160	+271 (+9%)	
Net DER (ハイブリッドローン考慮後)	0.8倍 (0.7倍)	0.9倍 (0.7倍)	+0.1倍	

2. 中期経営計画2025の進捗状況

政策保有株式の縮減状況

- 今年度3Q累計では12銘柄31.4億円の売却を実施
- さらなる縮減を達成するべく、継続して売却し、資本効率の改善や資産の入替を進める



※2Qに上場株式1銘柄を取得しております (PMB TECHNOLOGY BERHADへの出資分)

セグメント	投融資額 2024年度3Q累計	主な投融資案件	中計2025期間累計 (投融資枠800億円)
鉄鋼	43億円	海外コイルセンター子会社における工場新設 他	146億円
プライマリーメタル	19億円	PMB TECHNOLOGY BERHADへの出資 他	20億円
リサイクルメタル	9億円	国内連結子会社の能力増強 他	13億円
食品	16億円	株式会社マルゴ福山水産のグループ会社化 他	16億円
エネルギー・生活資材	5億円	国内連結子会社の能力増強 他	21億円
海外販売子会社	128億円	インドネシアにおける大和工業グループとの共同出資 GREEN ESTEEL PTE. LTD.への出資 他	136億円
その他	45億円	シンクス株式会社の株式譲受け 他	52億円
全社	36億円	新基幹システム構築/増強、新規土地取得 他	52億円
合計	303億円		合計 460億円
■ 環境配慮資源ビジネス ■ 二次電池関連ビジネス ■ 高付加価値加工品ビジネス ■ 地産地消ビジネス (海外) ■ 国内既存ビジネス			進捗率 57%

インドネシアにおける電炉メーカーへの一部出資 (PT GARUDA YAMATO STEEL)



当社連結子会社のPT HANWA INDONESIA が、インドネシアの電炉メーカーであるPT GARUDA YAMATO STEEL (旧商号 PT NUSANTARA BAJA PROFIL) に対し**15%の出資を行い持分法適用関連会社化**

電炉製鉄事業をグローバルに営む大和工業グループと協業し、インドネシア国内での**地産地消型ビジネスの拡大を推進**

事業内容 : 鉄鋼製品の製造及び販売
公称能力 (年産) : 製鋼 100 万トン / 圧延 90万トン

工場外観



圧延の様子



GREEN ESTEEL PTE. LTD.への出資



当社子会社のHANWA SINGAPORE (PRIVATE) LTD.がシンガポールの鉄鋼・金属関連事業持株会社GREEN ESTEEL PTE. LTD. (以下、ESTEEL社)の新株発行による株式引受を行うことを決定

ESTEEL社は東マレーシアで還元鉄 (HBI: Hot Briquetted Iron) の新工場建設 (年間生産能力250万トン) を発表しており、当社は**ESTEELグループが製造するHBIの販売権を取得**し、日本をはじめ各国へ販売

HBIの使用により、従来の高炉法による製鋼に比べ二酸化炭素の排出量を削減することができ、**脱炭素化に向けた当社の冷鉄源事業を加速**

HBIを製造するシャフト炉



HBI製品



PMB TECHNOLOGY BERHAD への出資

マレーシア証券取引所上場のPMB TECHNOLOGY BERHAD（以下、PMB）の株式2,400万株を取得

PMBの完全子会社であるPMB SILICON SDN. BHD.社製品の日本、韓国、ベトナム、タイ、フィリピン、インドネシア、マレーシアにおける独占販売権および在外日系資本企業への独占販売権を取得

また、啓和ファインマテリアル株式会社とともに、PMB SILICON社製の**金属シリコンを半導体産業および太陽電池産業向け原料に加工する合併会社HK FINE MATERIAL SDN. BHD.の設立に合意**

PMB SILICON SDN. BHD. 工場外観



株式会社マルゴ福山水産 のグループ会社化

北海道稚内市の水産加工会社である株式会社マルゴ福山水産の80%の株式を取得し、グループ会社化

売上高：38億円（2023年12月期）

主にホタテなどの、北海道北部で水揚げされる水産物を冷凍加工し販売。既存の当社食品系グループ会社の強みである**加工機能の強化と海外向け販売を促進し、食品部門全体でのシナジー効果**に期待

工場外観



選別作業の様子



メイン商材であるホタテ貝



シンクス株式会社の株式譲受け



静岡に本社を置く、木工加工機、鉄鋼加工機の製造・販売を行うシンクス株式会社（以下、シンクス）の株式100%を、マーキュリア日本産業成長支援投資事業有限責任組合より譲受け

事業拠点：全国13か所、工場1か所
売上高：61億円（2024年3月期）

当社ネットワークを通じたシンクス製機械の国内外での更なる拡販や、ユーザーに応じた迅速なサポートが各事業拠点から可能となり、当社産業機械部門の成長と共に大きなシナジー効果を見込む

本社工場外観



H形鋼開先加工機



当社子会社の株式会社ハローズの全株式譲渡



グループ経営資源の効率的な活用を通じた企業価値の向上を目的として事業ポートフォリオの見直しを進める中で、ハローズの営む事業を更に成長、発展させるために、同業界や施設運営における知見やノウハウを有する企業に経営を委ねるべきと判断し、GENDAのグループ企業である株式会社GENDA GiGO Entertainmentにハローズの譲渡を決定。

社名：株式会社ハローズ
事業内容：アミューズメント総合施設の企画/設計/管理/運営
イベントの企画/運営
遊具及びオリジナル景品の企画・製造・販売

資本金：100百万円
設立：1996年2月8日
持分比率：阪和興業株式会社 100%
決議日：2024年12月24日
契約締結：2024年12月24日
譲渡実行：2025年3月1日（予定）

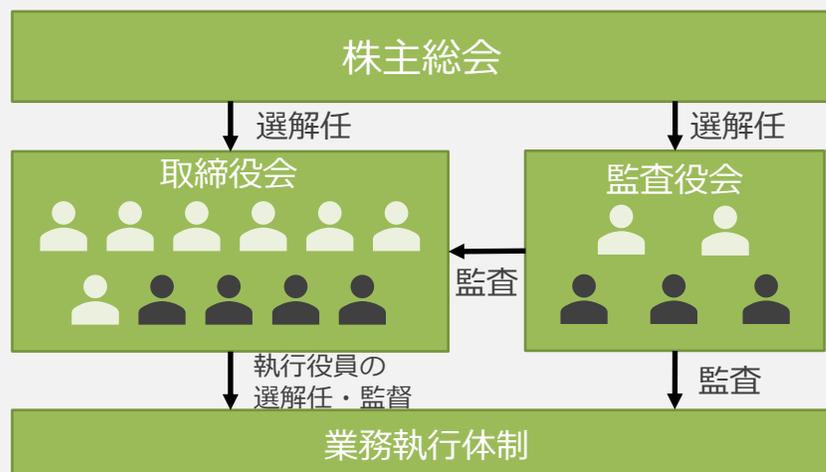
ハローズの運営するゲームセンター



監査等委員会設置会社への移行

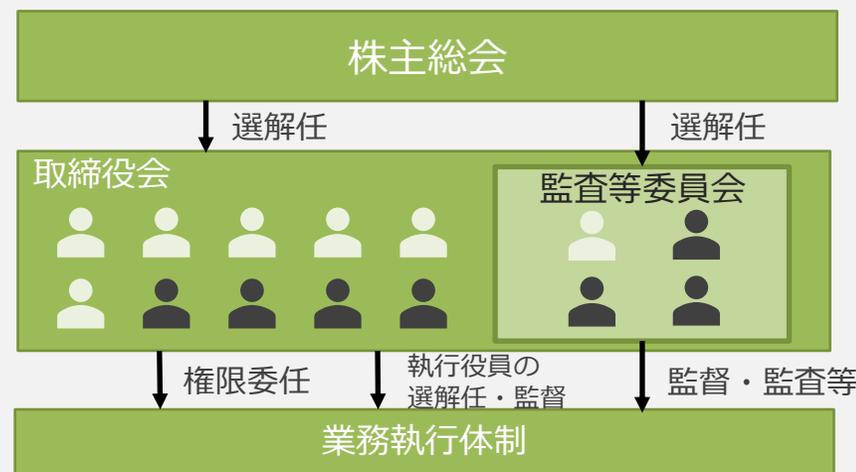
- 1月28日開催の取締役会において、「監査役会設置会社」から「監査等委員会設置会社」に移行する方針を決議
- 第78回定時株主総会（本年6月26日開催予定）において、必要な定款変更等について承認を得られた場合移行する予定

現行の体制 監査役会設置会社



	社内	社外	計
取締役	7名	4名	11名
監査役	2名	3名	5名
取締役および監査役の合計	9名	7名	16名

移行後の体制 監査等委員会設置会社



	社内	社外	計
監査等委員でない取締役	6名	4名	10名
監査等委員である取締役	1名	3名	4名
取締役合計	7名	7名	14名



✓ 監査等委員を取締役会の構成員とすることにより、取締役会の監督機能を強化し、より一層のコーポレートガバナンスの充実を図る

3. セグメント別の詳細

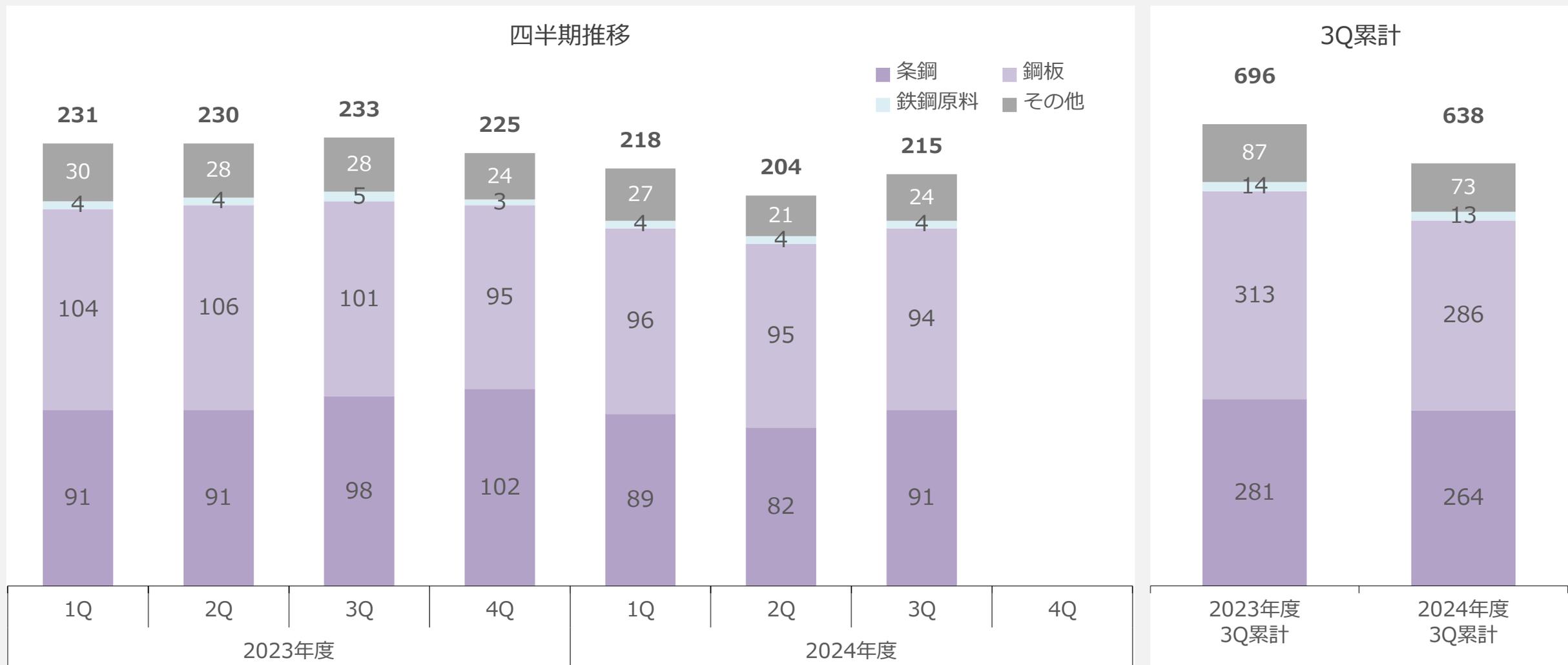
- 各種鋼材の取扱数量が減少したことが収益を押し下げ
- 国内建設分野が堅調に推移したことや高付加価値商品の取扱いを増やしたほか、一部の海外子会社で採算が改善したことが利益を押し上げ

	(億円)	2023年度					2024年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		3,078	2,999	2,929	3,011	12,019	2,939	2,900	2,893		8,733
経常利益		82	47	90	23	245	77	64	94		236
単体		71	46	85	25	229	71	62	78		213
国内連結子会社		11	11	21	13	57	9	10	11		30
海外連結子会社		10	▲ 2	▲ 4	▲ 7	▲ 5	3	▲ 4	6		5
持分法投資損益		1	▲ 4	▲ 0	▲ 3	▲ 6	3	▲ 0	▲ 1		0
調整		▲ 13	▲ 2	▲ 11	▲ 3	▲ 30	▲ 10	▲ 3	▲ 0		▲ 13

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

取扱量推移 (連結※)

(万t)



※ 鉄鋼事業セグメントに属する当社単体事業、国内鉄鋼関連子会社、海外コイルセンター子会社等の鉄鋼取扱量の単純合算
 全ての事業セグメントでの鉄鋼総取扱重量はP.3を参照

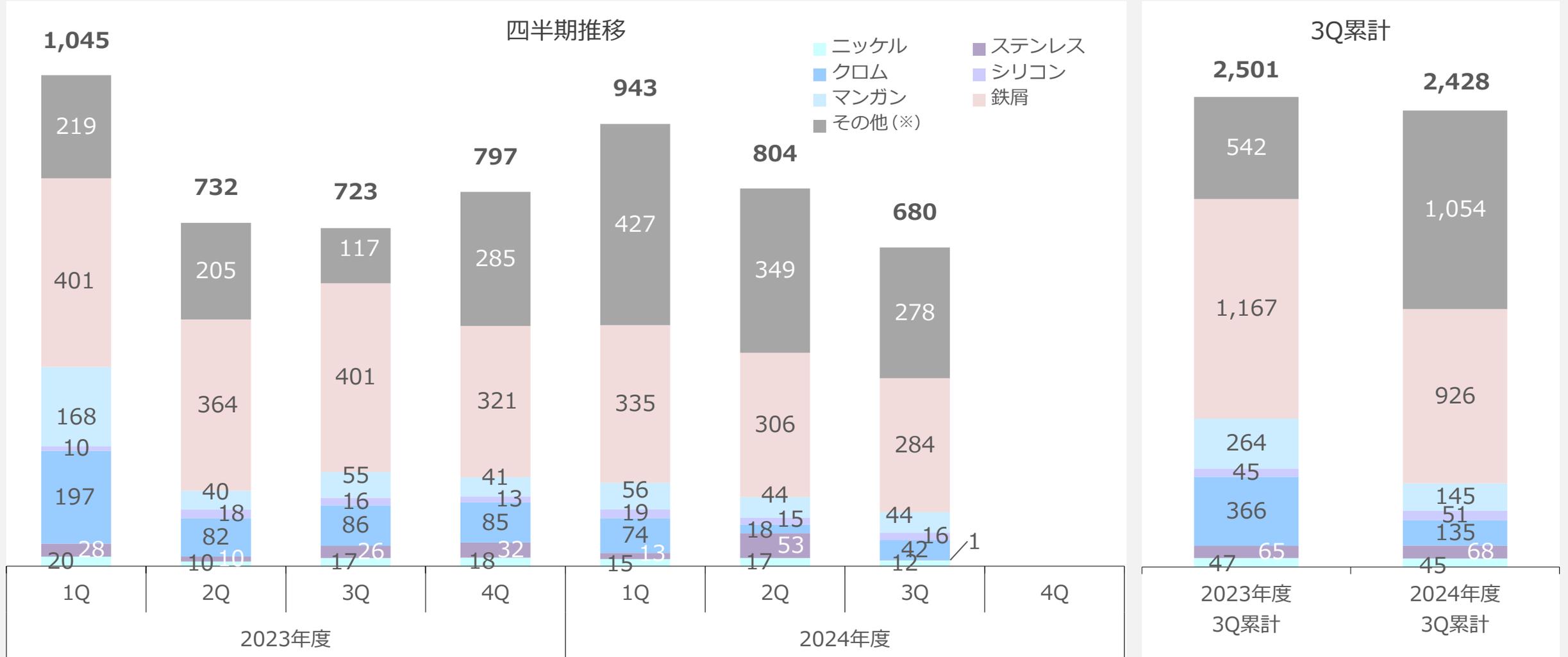
- 海外向け取引が拡大したものの、各種商材の市況が下落したことや、Samancorからの持分法による投資損益がマイナスに転じたことが利益を押し下げ

(億円)	2023年度					2024年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	538	433	439	463	1,874	458	538	430		1,427
経常利益	40	26	▲ 2	20	84	11	22	▲ 4		29
単体	40	6	2	4	54	8	16	12		38
国内連結子会社	▲ 0	▲ 0	▲ 0	1	1	▲ 0	▲ 0	0		▲ 0
海外連結子会社	-	-	-	-	-	-	-	-		-
持分法投資損益	▲ 0	20	▲ 5	16	30	2	5	▲ 16		▲ 7
調整	0	0	0	▲ 2	▲ 2	▲ 0	▲ 0	0		▲ 0

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

取扱量推移 (当社単体)

(千t)



※「その他」には、硫黄、硫酸、石炭などの副資材（副原料）に関わるスポット商売の取扱量を含む。

リサイクルメタル事業

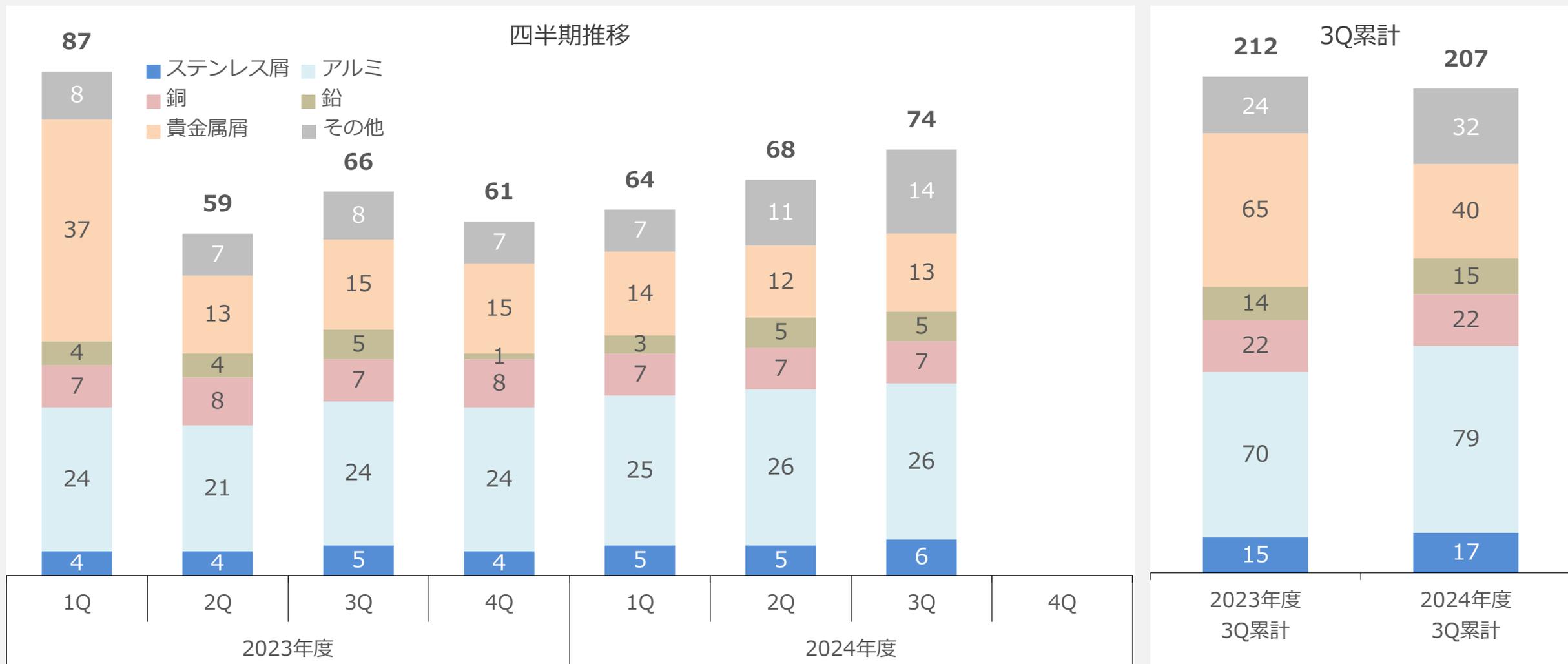
- 貴金属地金やアルミスクラップの取扱数量が増加したことが収益を押し上げ
- ニッケル相場が前年同期に比べ安値で推移した影響はあったものの、銅・アルミ相場などが堅調に推移したことが利益を押し上げ

(億円)	2023年度					2024年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	456	416	429	505	1,808	540	550	694		1,786
経常利益	11	1	3	4	21	7	7	14		29
単体	12	0	2	3	19	5	6	13		25
国内連結子会社	0	1	2	1	6	2	▲0	0		3
海外連結子会社	▲0	▲0	▲0	▲1	▲3	▲0	▲0	0		▲0
持分法投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0		0
調整	▲1	0	▲0	▲0	▲1	▲0	0	▲0		0

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

取扱量推移 (当社単体)

(千t)

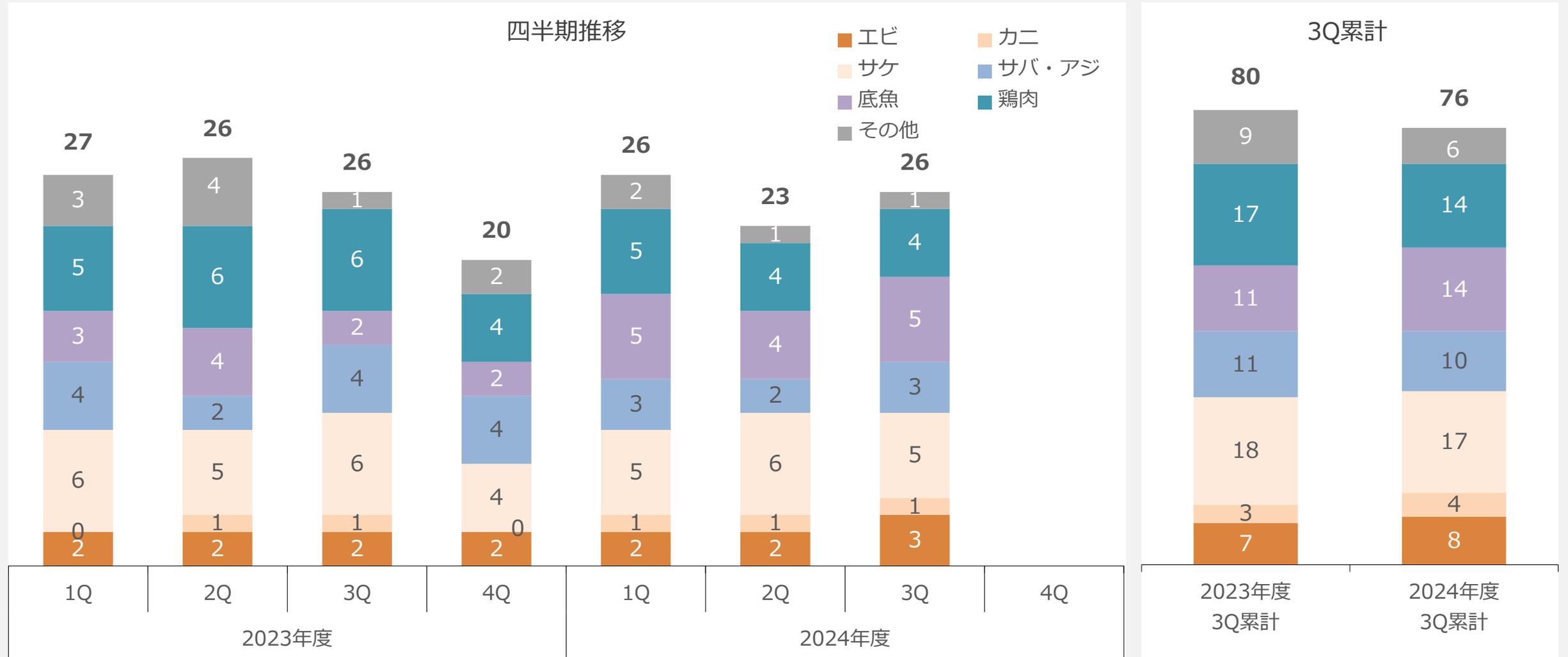


- 取扱数量は横ばいであったものの、量販店向けの商売が安定的に推移したことやカニを中心に食品価格が前年同期に比べ高値で推移したことが収益・利益を押し上げ

	(億円)	2023年度					2024年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		287	325	368	247	1,229	293	365	421		1,080
経常利益		4	▲ 6	12	2	13	3	4	14		22
単体		8	▲ 16	18	2	13	5	1	10		16
国内連結子会社		0	0	3	▲ 0	4	0	0	3		4
海外連結子会社		▲ 2	0	0	0	▲ 2	0	1	▲ 0		2
持分法投資損益		—	—	—	—	—	—	—	—		—
調整		▲ 1	9	▲ 9	0	▲ 1	▲ 2	1	0		▲ 1

取扱量推移 (当社単体)

(千t)

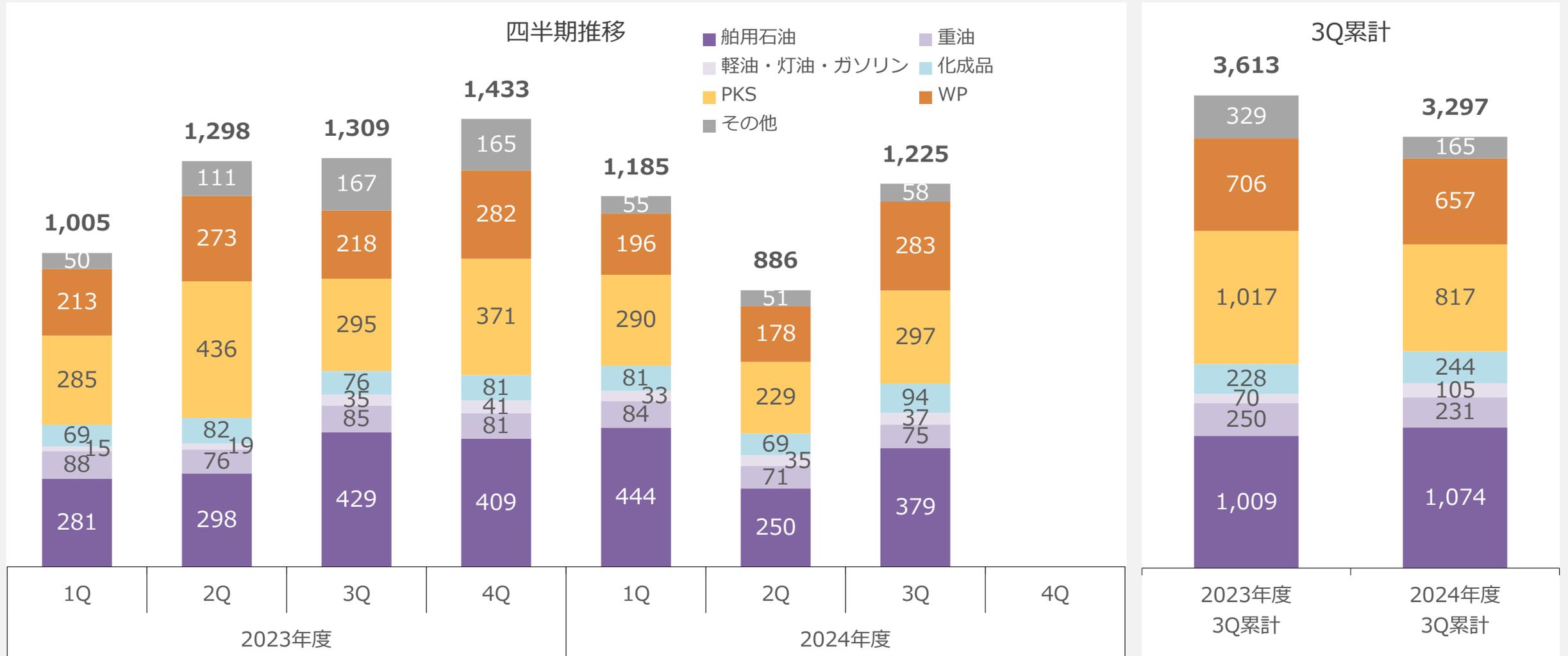


- 船用石油関連の取扱数量が大幅に増加したことが収益を押し上げ
- 化学品関連の取扱数量の増加や販売単価の上昇が収益・利益を押し上げ

	2023年度					2024年度					
	(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		690	813	971	990	3,465	936	909	998		2,843
経常利益		13	1	36	14	65	14	36	24		76
単体		24	7	25	20	77	19	26	26		72
国内連結子会社		▲ 2	▲ 6	10	2	3	▲ 3	9	▲ 1		5
海外連結子会社		—	—	—	—	—	—	—	—		—
持分法投資損益		0	0	0	▲ 0	1	0	0	0		0
調整		▲ 9	0	▲ 0	▲ 7	▲ 16	▲ 1	▲ 0	▲ 0		▲ 2

取扱量推移 (当社単体)

(千t)

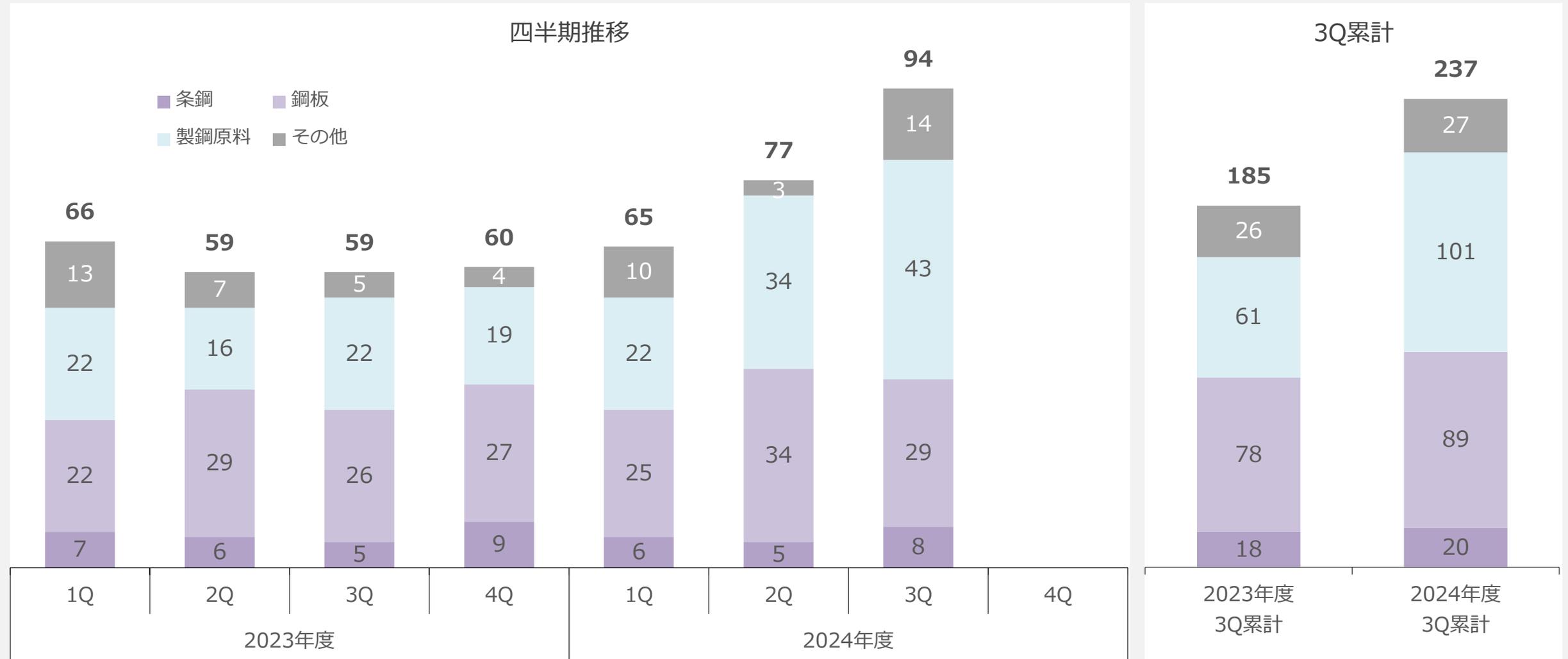


- 鉄鋼関連の新規連結子会社が収益増加に寄与
- アジア地域を中心に鉄鋼製品価格が前年同期に比べ安値で推移している一方、メキシコでの鉄鋼取扱数量、タイでの非鉄金属の取扱数量の増加に加え、GYSの持分法投資利益が貢献し、3Qは利益を押し上げ

	(億円)	2023年度					2024年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高		867	835	885	800	3,389	975	1,084	1,162		3,222
経常利益		20	24	20	12	78	16	20	25		62
ASEAN		16	19	13	8	57	11	13	17		42
東アジア		0	1	2	2	5	1	1	2		4
北米		2	3	3	2	11	3	4	5		13
その他		0	0	1	▲0	2	0	1	0		2
調整		0	0	0	▲0	0	0	▲0	▲0		▲0

鉄鋼取扱量推移 (海外販売子会社合計)

(万t)



その他事業

- 住宅資材：住宅メーカーとの取引拡大が進んだものの木材価格下落の影響などがあった結果、増収・減益
- 機械：ライフ・アミューズメント分野での大型完工物件が前年同期に比べて少なかったことから、減収・減益

(億円)	2023年度					2024年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	367	322	325	318	1,332	320	333	342		997
経常利益	15	4	6	12	38	9	1	4		15
単体	14	2	5	10	32	8	▲1	3		10
国内連結子会社	1	1	0	2	6	1	2	2		6
海外連結子会社	—	—	—	—	—	—	—	—		—
持分法投資損益	—	—	—	—	—	—	—	—		—
調整	▲0	0	▲0	▲0	▲0	0	▲0	▲1		▲1

※ 報告セグメントの区分見直しに伴うセグメント業績修正後

事業セグメント別の実力利益

※当社基幹システムの変更に伴い、為替評価損益の要因分析に関わる精度が高まったため、当第2四半期より為替評価損益についての抽出方法を変更しております。

(億円)

セグメント	売上高	経常利益	評価・一過性項目				実力 経常利益	2024年度 業績予想 通期進捗率
			在庫評価	デリバティブ 評価	為替評価	一過性要因		
鉄鋼	8,733	236	▲4	－	－	▲0	242	77%
プライマリーメタル	1,427	29	▲0	0	－	－	30	60%
リサイクルメタル	1,786	29	0	6	－	▲1	23	58%
食品	1,080	22	1	－	－	－	20	82%
エネルギー・生活資材	2,843	76	0	2	－	－	73	67%
海外販売子会社	3,222	62	▲0	1	－	2	58	68%
その他	997	15	0	－	－	－	14	59%
調整	▲894	▲39	－	－	▲10	－	▲29	59%
合計	19,195	432	▲2	10	▲10	0	433	72%

Run Up to HANWA 2030



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。